



# 吉 さくら日和 (校長室より)

令和7年4月22日発行

吉野さくら学園

校長 山田 真路

No. 2

今年の桜も、昨年同様に始業式、入学式を待っていてくれたようですね。小学生22名、中学生18名の入学生を迎えました。子どもたち、先生方と一緒に、咲きほこる吉野の桜の美しさを凌ぐように、自分の持ち味という花を、一人一人が存分に咲き誇ることができる吉野さくら学園の今年度の活動をしたいと思っています。

私は、始業式と入学式で、子どもたちに次のような話をしました。

## 【徳(とく)の心・恕(じょ)の心】

私は昨年、「ことばの力」と「公共のマナー」を身につけて、みんなが楽しく安心して自分を表現できる学習活動や学校生活を送ることができるようにと全体に話をしました。今年は、この二つを大切にしつつ、みんなと一緒に育てていきたい心を二つ選びました。

一つ目が、「徳」の心です。昔の中国で書かれた『論語』という書物(本)に、「徳は孤ならず、必ず隣あり。」とあります。徳の心があれば、分かってくれる人や力を出してくれる人が集まってきます。という意味です。徳の心を育て、みんながみんなをわかり合える仲間になりましょう。だれかさんを喜ばせる生活をする中で、徳の心を育てられるようです。

二つ目は、「恕」の心です。こちら『論語』に、「其れ恕か。己の欲せざるところ、人に施すなかれ。」とあります。相手の立場に立って、ものごとを考えるといった思いやりの心を持ちましょう。という意味です。恕の心を育て、思いやりの心があふれる仲間になりましょう。「恕」の心を適度に、いい加減にしてしまうと、「怒」(おこる)になってしまうことがありますよと、ホワイトボードに漢字を実際に書いて話してみました。

徳、恕は漢字が難しく、わかりにくいようですが、意味を捉えてみると案外分かりやすいものです。

入学式で小学校1年生に向けて、「やさしい心」「自分を好きになる心」を育てましょうと紹介しました。

## 【学思行 相まって良となす(がくしこう あいまってりょうとなす)】

「学」とは、学ぶことです。「思」とは、考えることです。「行」とは、実行することです。「学思行相まって良となす」は、学ぶということは、ただ知識を手に入れるのではなく、学んだことをよく考えて行動することで、本当に学んだことになる。という意味です。今から約2200年前に、細井平洲という人が説いた言葉です。

小学校生活、中学校生活の中心となるのは、学ぶことです。学んだことを実生活に生かして、よりよい生活につなげることが本来の学びであるのです。「学びによってつけた力を、自分はどのように使おうか。」「どんな学校にしたいのか。」「どんなクラスにしたいのか。」「そのために、自分はどんなことができるのか。」等、自分で自分に問いかけ、それらの問いに対する自分にふさわしい正解を探すといった力強い学びをすすめていきましょう。

心を育てる。学びを育てる。子どもたちのよりよい成長に向けて、子どもたちの望ましい進路選択に向けて、教職員一同心を込めて本校の教育活動に取り組んでいきます。学校、家庭、地域が連携し、同じ方向に向かって、理解し合い、協力し合える関係でありたいと思っています。よろしく願いいたします。

## 今年の吉野山観光案内(中2)、吉野山桜散策(小4)は、桜の花が咲いていました。

世界に誇る吉野山の桜の花を眺めながらの活動になりました。吉野さくら学園では、小学校1年生から桜の学習を系統的にすすめています。吉野山の桜を調べるなかで、パソコンの画面や写真で吉野山の桜を目にすることは何回もあったことでしょう。しかし、画面で見る桜の風景と、目の前に広がる桜の風景では、心に響く何かが大きく違ったことと思います。普段の学習でも、今回の吉野山でのふるさと学習でも、実体験を伴う活動を生かして、子どもたちの心を育てていきたいと思っています。

「観光客の方に説明したことを分かってもらえてうれしかった。」「最初は緊張して自分から声をかけられなかったけど、慣れてきたら自分からすすんで話かけられるようになった。」「桜の花がきれいだった。」等の感想が聞かれました。

ふるさと吉野を、自身をもって相手に語るができる吉野の子どもに育ててほしいです。

### ◎家庭訪問・休日参観・PTA総会のお願い

4月21日(月)~25日(金)にかけて、家庭訪問となっております。お忙しいなか、時間の都合をつけてくださりありがとうございます。有意義な時間となりますようお願いいたします。

4月26日(土)の休日参観で、学年が一つ上がった児童生徒の学習の様子、学校の様子をご覧ください。続けて、体育館にて令和7年度PTA総会を開催します。総会後は、各学年から選出された学年委員さんによる専門委員会の話し合いをします。今年度、役員・委員でお世話になる皆さまよろしく願いいたします。